

エゼキエル書の終わりの部分

2012年2月19日 リバイブ・イスラエル・ミニストリーズ

エゼキエル書の最後12章分はどう解釈すべきでしょうか。以下のようにまとめることができます、

37章:「枯れた骨」——イスラエルの復活と再集結

38～39章:「マゴグ」——終末の世界的な対イスラエル戦争

40～46章:「神殿」——エルサレムの中心的礼拝地域の再建

47章:「川」——自然界の水と植生の回復

48章:「国境」——イスラエルの地における再居住

これは聖書の中で大きな部分で、まだ起こっていない事柄を解説しています。私はこのことがこれから起こると信じています、いつ、どのようにでしょうか。

それは主の再臨前に起こるとするならばあまりにも黙示的です。また単に比喩的なものであると解釈するならばあまりにも逐語的で詳細です。[聖書に登場する他の預言者も同じような記述をしています。(イザヤ60章～66章、エレミヤ30～33章、ダニエル7章、ヨエル3章、アモス9章、ミカ2～5章、ゼカリヤ8～14章)]

このことに対する唯一の聖書的解釈は、これらのことが実際にイエシュア(イエス)の再臨の時に起こることです。またそれはキリストの千年支配と呼ばれるものと同時に起こると考えます(黙示録20章4～6節)。そしてそれはいかにイスラエル、あるいはユダヤに焦点をおいているか見て取れるのではないのでしょうか。

イエシュアがダビデの子(ローマ1章3節)であり神の子(ローマ1章4節)でもあることを思い出しましょう。再臨の時には、その王国は神的でありダビデ的でもあるのです。聖書のメシア預言の内、約半分がイエシュアが最初に来られた時に実現しました。残りの半分は再臨の時に実現します。

イスラエルの回復に関する預言の重要性は、ユダヤ人に対する民族的、文化的好みについての問題なのではなく、むしろ地上におけるメシアの治める千年王国への準備という意味合いにあるのです(マタイ6章10節、25章31節、使徒の働き1章6節、黙示録11章15節)。私たちの仕事は、その御国のメッセージを伝えることなのです(マタイ24章14節)。

弾道弾迎撃「アロー」ミサイル

ヘッツ(訳注:ヘブライ語で「矢」英語で「アロー」)という弾道ミサイルを迎撃する防衛システムが、ア

メロカとイスラエルの共同で開発されました。先週、イスラエルは新型レーダーシステムのテストに成功しました。つまり、核弾頭を搭載したミサイルがイランからイスラエルに向けて発射されても、この新型レーダーにより探知され、より早い時間にミサイルで迎撃することができるのです。つまり、イスラエルの国境に近づく遥か前に迎撃できるのです。

ブラジル

アシェルとソロモンが今週末、ブラジルへ飛び、御国の福音について教える2週間のミニストリーを行ないます。どうぞお祈りください。

エステル断食

引き続き3月7日朝6時から夜6時まで行なわれる、エステル断食祈禱集会について、皆様の祈り会などにお知らせください。国外とイスラエルの祈りのグループがこの執り成しをする上で重要で戦略的な時のために力を合わせます。追って詳細をお知らせいたします。

エイラートでのインタビュー

イスラエルの新聞とテレビが、今週エイラートに暮らす市民について取材しています。その中に、エイラートでシェルター(注)ミニストリーを行なっているメシヤニック信者のペックス一家が含まれています。良い証ができるようお祈りください。

注:シェルターとは通常「風雨や空襲などの危険から避ける避難所」や「一時的な動物、暴力を受けている人やホームレスのための収容施設」という意味ですが、ペックス一家の活動はどれに該当するのか不明。

売春禁止法案

マティ・ショシャニ

2月15日水曜日、イスラエル国会は、買春行為を違法とする法律を可決しました。この投票は、公式に有効な法律とするために必要とされる3回の国会投票の1回目でした。この法律は、(売春)取引における買い手側の刑事責任を追及し、そのことにより供給側を処罰するよりも、むしろ需要を挫くためのものです。イスラエル国会に提出されたこの件のモデルは、既にスウェーデンを含む4カ国にて適用され効果を上げているもので、スウェーデンは1999年にこの法律が可決させた最初の国です。

現在イスラエルにおいて売春行為は合法です。その産業は年間約24億イスラエル新シェケルを超

す金額が生み出され、それらのほとんどが、暴力団組織の懐に直接入ると見られています。現在、1万から1万5千人の売春者がおり、ひと月に100万人を超す顧客と取引しています。これらの女性(95%が女性)は、常に極度な暴力、強姦、暴行、心理的または肉体的苦痛、性病、戦場から帰って来た兵士らより高い確立で心的外傷後障害(PTSD)にさらされているのです。売春業の女性の死亡率は平均的女性の40倍も高いのです。売春という「職業」は、それを行なう者を心理的、肉体的、また霊的に消耗させ破壊させるのです。

この水曜日の投票までの数週間、新聞記事や、ブログ、テレビニュースはこの法案の利点についての討論を展開させ、この売春に関する話題はとても熱いものでした。いくつかの自由主義的な世俗派メディアは合法的売春を支持すると表明しました。

エルサレム司法研究所(私が協力している)は、この法案を可決させるための手段となっています。最近私たちはイスラエルにおける売春業に関するショートフィルムの制作を終えました。(リンクはこちらをクリック)これから数週間、国会の委員会により最終的な法案内容が詰められます。残り2回の投票において可決を妨げる可能性のある障害が2つあります。それは、施行と財務です。

もし可決すれば、この法律はイスラエルの倫理的な行政における飛躍的な進歩です。現在この件に関する一般世論としては、売春賛成に傾いています。私たちに、この法案に反対する多くの人から、大量のクレームが届いていますが、十分な討論を重ねたのちには、世論は変えることができると信じています。どうぞこの法案が可決されるよう、私たちと共に祈りください。イザヤ1章26～27節の約束の成就を目の当たりにすることができるよう、私たちは祈っています。イスラエルの正義と義が上から下に向かって、回復されますように。

以下が、2012年2月15日付けのイスラエルの新聞、イェディオット・アハロノット紙に掲載された統計です。

- ・イスラエルの1万～2万の男性および女性が売春に関連する仕事をしている。
- ・毎月約100万人の「客」が、娼館を訪れている。
- ・全体の3分の1の売春婦が12～14歳の間にその仕事を始めている。
- ・売春婦の内55%が子供のとき、性的虐待を受けた経験を持つ。
- ・75%を超す売春婦が薬物中毒、あるいはアルコール中毒である。
- ・約60%が仕事に強姦されたり性的攻撃を受けた経験がある。
- ・46%～59%が5回以上強姦された経験がある。
- ・売春婦全体の約68%が心的外傷後ストレス障害(PTSD)に悩まされている。
- ・89%～92%が売春業から抜け出したいと思っているが、できないでいる。